



(福) 尚徳福祉会 末長こぐま保育園 2020.02.03

年が明けると1月は行く、2月は逃げる、3月は去ると言っあつという間に過ぎると言われているそうです。確かに1月はお正月休みもありあつという間でしたね。

2月3日は、節分の日です。「おには外、福は内！」と豆をまきながら、病気や厄災などを追い出す行事です。子どもたちの心の中にある、泣き虫おに、おこりんぼおに、いじわるおに、いたずらっ子おになどなど。さあ、今年はどうなおにを退治できたでしょうか？

どのクラスも、進級まで残すところ2か月となりました。次のクラスへスムーズに進級できるように少しづつほかのクラスとの交流や次のクラスにお邪魔して遊んだりといろんなことを考えて、子どもたちが不安にならないように楽しく残りの日々を過ごしていきたいと思います。

今月の行事

月	火	水	木	金	土
3 節分集会	4 末長小 1年生交流 (5歳児)	5	6	7	8 親子で遊ぼう ふれあい会・懇談会 (乳児)
10	11 建国記念日	12	13 デイ訪問 (4・5歳児)	14 英語であそぼ 幼児クラス	15 こぐま会新旧 引継ぎ
17	18	19 あそびの広場	20 避難訓練	21 園医検診 (0, 1歳)	22
24 振替休日	25	26 誕生会	27	28 健康楽会 英語であそぼ 幼児クラス	29



ばなな組
めろん組

うさぎ組
きりん組

『自分を受け入れることが、子どもを受け入れること』

親の務めは、その子の個性を認め、長所を伸ばすことです。その子の欠点ばかりに目を向けていたらお互いにも良いことはありません。子どもは、親が思っているような子どもになろうとしているのです。なぜなら、子どもというのは、親の評価を受け入れて、自分はそういう子なのだと思い、そのような自己像を形成してゆくからです。その子が何を望み、どんな悩みを抱えているのか、園生活や日常生活で何を感じ何を考えているのか、私たち大人は、子どもの話に真剣に耳を傾けなければなりません。そうすれば、子どもは自分が大切にされている、認められ愛されていると実感できます。自分は親に丸ごと受け入れられていると感じることが出来るのです。

「子どもが育つ魔法の言葉」から引用